門真市第４地域包括支援センター活動計画書、活動報告書（令和7年度版）

資料５-④

●令和7年度当初の値

圏域内の居宅介護支援事業所数	18
主任介護支援専門員の人数	27
介護支援専門員の数	56

●令和7年度のケアプラン総数

基準月	ケアプラン作成数	直持ちプラン件数	委託プラン件数	委託率（%）	高齢者数／人口	高齢化率
令和7年3月	216	31	185	85.6%	7213人／25292人	28.5
令和8年3月					／	

	事業の内容	門真市目標値		前年度実績		活動計画		上半期実績		当該年度実績		自己評価	前年度の反省を踏まえた当該年度の目標	上半期の活動内容のまとめと課題
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数			
包括的継続的ケアマネジメント業務	事例検討会・研修会（法定外研修含む）	2		2	41	2	40						リハ職派遣や元気はつらつ教室の活用が進まない原因として、実際に体験し理解する機会がないためと思われ、前年度の研修や事例検討を踏まえ、今年度も委託を通じてリハ職派遣や元気はつらつ教室を活用する機会をもって頂けるようにケアマネジャーの後方支援を行う。 また、ケアマネジャーが困難と感じる内容を踏まえた事例検討を開催する。	
	うち、他圏域との合同開催数			0	0									
	ネットワーク会議（圏域地域ケア会議以外の医療・関係機関等との意見交換の場など））	2		7	109	10	120							
	元気はつらつ利用者数（直持ち）		10		1		2							
	元気はつらつ利用者数（委託）				6		8							
ケア地域会議	個別地域ケア会議　延べ件数（実件数）	延べ3		4		5							新たな課題抽出のためにも、圏域地域ケア会議の参加者を見直し開催する。個別会議については、支援者への個々の連携で支援が進むことが多いが、支援者同士の連携作りを意識し、開催判断を早期に行う。	
	圏域地域ケア会議	1		1		1	10							
把握事業	基本チェックリスト実施件数		30		35		40						高齢者自身が昨年の結果と比較しフレイル予防等のきっかけに出来るよう継続した啓発を行なう。	
介護予防普及啓発事業	介護予防教室	6	60	10	262	8	160						毎月定例の四つ葉教室は、様々な通いの場や関係機関に開催周知を行い参加者の増加など活性化を図る。地域の集まりの場などを把握しこまめに足を運び介護予防についての周知を図る。	
	出前講座を含めた普及啓発			10	972									
	うち、他圏域との合同開催数			0	0									
地域介護予防活動支援事業	通いの場のへの支援			7	66	8	70						市民が自主的に立ち上げを希望されるよう、通いの場が立ち上がっていない四宮校区を中心に地域の集まりなどにこまめに出向き、日ごろからの啓発などいわゆる種まきを行っていく。活動中の通いの場にはリハビリ職派遣など様々な提案を行い活性化を図る。	
	通いの場への専門職（リハ職等）派遣（派遣回数と通いの場の人数）	3	15	23	221	11	218							
	ボランティア等養成及び活動支援	1	10	0	0	1	10							
	うち、他圏域との合同開催数			6	281									
介護予防拠点の開発	地域包括支援センターが関わりのある通いの場の数と参加者数			16	213	17	220						いきいき100歳体操以外の集まりの場の把握を行い、出前講座や認知症サポーター養成講座など会の活性化や連携強化のための関わりを増やしていく。	
	年度内に立ち上げた通いの場数と参加者数	1	5	2	20	1	7							
認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チーム対象者把握票実施件数		10		0		10						総合相談の早い段階でチーム対象者か検討しいつでも発動できるよう全職員に研修(伝達)を行う。 認知症サポーター養成とステップアップを計画的に開催できるよう複数年度での計画する。他包括を参考にしてステップアップ内容を検討する。第５包括との共同開催認知症見守り教室から認知症カフェについても検討する。	
	認知症初期集中支援チーム発動件数		2		0		2							
	認知症カフェ（立上及び開催支援）	1	5	0	0	1	5							
	認知症サポーターステップアップ講座	1	10	1	9	1	10							
	うち、他圏域等との合同開催数			0	0									
	ボランティア等養成及び活動支援	1	5	6	288	6	250							
	うち、他圏域との合同開催数			0	0									
任意事業	家族介護教室	1	5	2	58	1	30						ナーシングホーム智鳥を活用して、第５包括との境界地区に集いの場が少ないという地域課題を解消し、見守りのある地域づくりに取り組む。 要介護認定後も支援に直ぐにつながらない場合等の介護者家族の健康や経済的な相談にも対応していく。 対象者を再検討しジュニアへの認知症サポーター養成講座の開催に取り組む。	
	出前講座等を含めた普及啓発（家族介護教室）			0	0									
	認知症見守り教室	2	10	4	85	2	50							
	出前講座等を含めた普及啓発（認知症見守り教室）			2	300									
	介護者家族交流会(立上及び開催支援）	1	5	0	0	1	5							
	介護者家族健康相談				4		3							
	認知症サポーター養成講座(一般)			6	105	3	60							
	うち、他圏域等との合同開催数			0	0									
	認知症サポーター養成講座(ジュニア)	1	10	0	0	1	10							
	うち、他圏域等との合同開催数			0	0									
休日の対面相談	夜間・休日に対面して相談対応した件数（計画の記載は不要）			実人数 1	延人数 1			実人数	延人数	実人数	延人数			